

試練&チャレンジ —2019~2020

中国プロジェクト
執行役員
ゆしん けつ
愈 箴潔



2019年は中国国内大多数の日系企業にとって20年以来未曾有な1年となった。京二上海もその影響を大きく受けた。決算まで期間は残っているが、予測としては2019年売上1200万元（約2億円）、営業利益12万元（約200万円）。弊社のお客様は自動車関連が多く、前年より4～5割生産減少。1月～6月は、京二上海は去年の8割の売上しか達成できなかった。業績下降の背景は中国国内自動車の不景気だ。1月～10月までの累積生産は2044.4万台であり、前年同月比で下降幅が約10%と低迷。部品メーカーへの影響が更に高い。「国6排気ガス規制」による自動車販売への技術圧力がまだ大きい。「国6」は世界で一番厳しい規制と言われている。上海市でも2019年7月から「国6」が実施され、基準を満たさない自動車の販売は禁止されている。市場の低迷は2020年まで続く見込み。このような環境の中で従来の商品だけでは

売上アップは難しい。日本、アメリカ向け中国工具を積極的に販売したい。特に蘇州途研精密工と北京ワールドダイヤモンド工具の業績が去年の3倍に上り、日本国内大手での継続採用による量産効果が大きい。中国国内の低迷を補填可能。ここでは若い社員2名が力を大きく発揮している。各国への輸出、メーカーとの交渉、お客様への直接フォローで業績の成長に貢献できた。

鑄造部品事業はまだ試作案件が多く、マネージャー韓琳が主担当として主導している。ロストワックスステンレス、鑄鋼部品として展開している。量産まで1年以上の試作と修正の繰り返し期間が必要。2020年下半期での鑄造部品の量産効果が期待できる。

2020年の売上計画は10～15%増加の見込み。綿密的な日中両方、北米、メキシコへの営業活動の展開ときめ細かいフォローがカギになる。

